

様式 1

県立結城第二高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

これまでの学校生活で個性・能力を十分に発揮できなかった生徒たちに対して、「人とつながるオンリーワン、みんなが資源、みんなで支援」を基調とした学校像を目指す。

- 1 個に応じた指導をとおり、向上心を高め、自己実現を目指せる学校
- 2 自己肯定感を培い、自他を理解・受容し、社会性をはぐくめる学校
- 3 地域社会と連携し、いつでもだれでも学べる、地域に開かれた学校
- 4 本校に携わるすべての人が Well-Being であるために、自他を尊重し、互いの長所を生かして物事に取り組める学校

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>地域や社会の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、より良く社会で生きていくことを目指し、自他にかかわる課題発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 自己を理解し、その上で地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につける。</p> <p>(2) 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査をして得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、考えたことを適切に表現する力を身につける。</p> <p>(3) 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりに関する探究活動に主体的・協働的に取り組み、社会に貢献しようとする態度を育てる。</p>	<p>以下の観点から総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や活動の状況などの観察記録による評価 ・中間発表や進捗状況共有の場での表現による評価 ・評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価 ・キャリアパスポートを利用した評価 ・探究課題が地域や社会の人、もの、ことに及ぶ場合の保護者や地域社会の人々による第三者評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を共有し、特性を理解した上で、個に応じた指導をおこなう。 ・生徒支援委員会との連携を図る。 ・必要があればケース会議を開き、より手厚い支援の在り方について検討する。

各年次における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

年次	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年次	<p>(1) インターネットや学校図書館を活用し、情報収集の仕方を学ぶ。集めた情報を活用し、自分なりに分析や考察をすることにより、探究方法の基礎を知る。</p> <p>(2) 日常の身近なことから疑問点を見出し、探究テーマを設定する。個々で分析や考察をおこない、キャリアパスポートにまとめ、発表する。</p>	<p>・外部講師による、探究テーマ設定に関連する出前授業</p> <p>※予定</p>	<p>(1) 教師の指導を受けながら、これまでの経験をもとに問いを見だし、その解決のための方法を探り、実現のための情報を分析し明確化することができる。</p> <p>(2) 教師の指導を受けながら、協働的に課題解決へ取り組み、自己を見つめなおす。</p>
2年次	<p>(1) 本校の所在地である結城市について、その歴史や文化、産業等について知るとともに、体験学習を通じて理解を深める。</p> <p>(2) 一連のプログラムを通じて、結城市の抱える課題や問題点を見出し、考察して自分なりの解決策を考えて発表する。</p>	<p>・外部講師による、結城市の歴史や文化、観光についての出前授業(結城市役所)</p> <p>・結城市内和菓子店</p> <p>※予定</p>	<p>(1) 教師の助言を通して、各学校行事または地域や社会の人、もの、ことにおいて課題設定し、その解決のための方法を探り、実現のための情報を分析し明確化することができる。</p> <p>(2) 教師の助言を通して、課題解決へ向けて取り組むことによって、自らと地域の関係について考えることができる。</p>
3年次	<p>(1) 実現したい進路の方向性を定め、必要な情報を主体的に収集する。志望理由書や面接練習を通じて、自分の興味関心を整理し、適切に他者に伝える。また、一連の活動を通じて自己の課題を発見し、解決へ向けての対処法を明確化して表現する。</p> <p>(2) これまでのキャリアパスポートを活用し、高校生活における自己を振り返るとともに、社会人としての自分をイメージし、自己の課題発見、解決へ向けての対処法を明確化し、表現する。</p>	<p>・外部講師による、面接指導や志望理由書の書き方講座</p> <p>・外部講師による社会人マナー講座</p> <p>※予定</p>	<p>(1) 主体的に、各学校行事または地域や社会の人、もの、ことにおいて課題設定し、その解決のための方法を探り、実現のための情報を分析し明確化することができる。</p> <p>(2) 主体的・協働的に、課題解決へ向けて取り組むことによって、適切な職業選択と社会貢献について考えることができる。</p>